

平成22年度シリア現地調査の成果（概報）

平成 22 年 10 月 12 日から 11 月 19 日まで実施したシリア現地調査では、ガーネム・アル・アリ集落遺跡のスクエア 6、7、8 と同遺跡直近ワディ・ダバ墓地遺構群における発掘調査を実施しました。

この一連の発掘調査により、ガーネム・アル・アリ集落遺跡の主な年代が前期青銅器時代であったこと、そして、その住民の多くが同じく前期青銅器時代の年代であるワディ・ダバ墓地遺構群に埋葬されたことを解明しつつあります。

現地調査のメンバーは以下の通りです。

大沼克彦（研究代表者：国士舘大学イラク古代文化研究所教授（役割：現地調査の統括とガーネム・アル・アリ遺跡スクエア 6 の発掘調査））

小野 勇（研究分担者：国士舘大学工学部都市ランドスケープ学系技術職員（ガーネム・アル・アリ/ワディ・ダバ遺跡周辺の地形調査と測量））

久米正吾（研究分担者：国士舘大学イラク古代文化研究所共同研究員（ワディ・ダバ墓地遺構群の発掘調査））

長谷川敦章（研究協力者：日本学術振興会特別研究員（PD）（ガーネム・アル・アリ遺跡スクエア 7、8 の発掘調査））

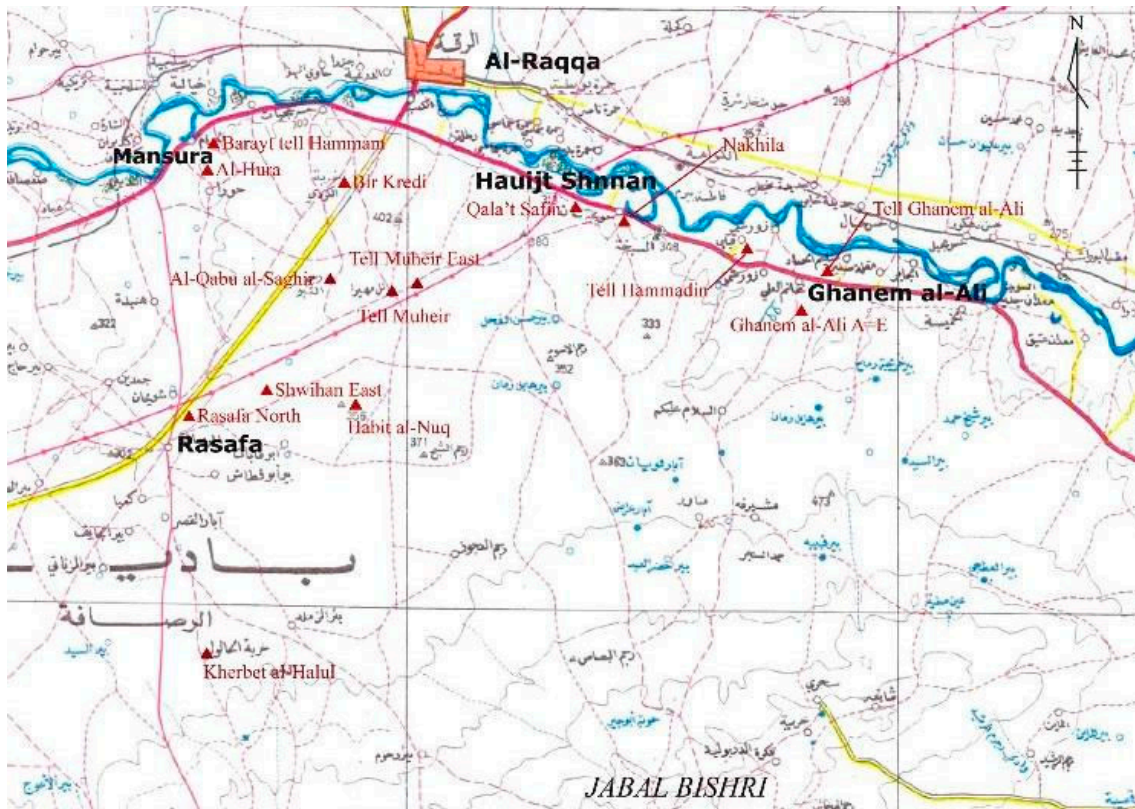
赤司千恵（研究協力者：早稲田大学大学院文学研究科博士課程学生・日本学術振興会特別研究員（DC）（植物遺存体の研究））

飯塚守人（研究協力者：筑波大学大学院人文社会科学研究科修士課程学生（ガーネム・アル・アリ遺跡スクエア 7、8 の発掘調査））

堀岡晴美（自由参加/現地合流：国士舘大学イラク古代文化研究所共同研究員）

後藤智哉（自由参加/現地合流：国士舘大学イラク古代文化研究所共同研究員）

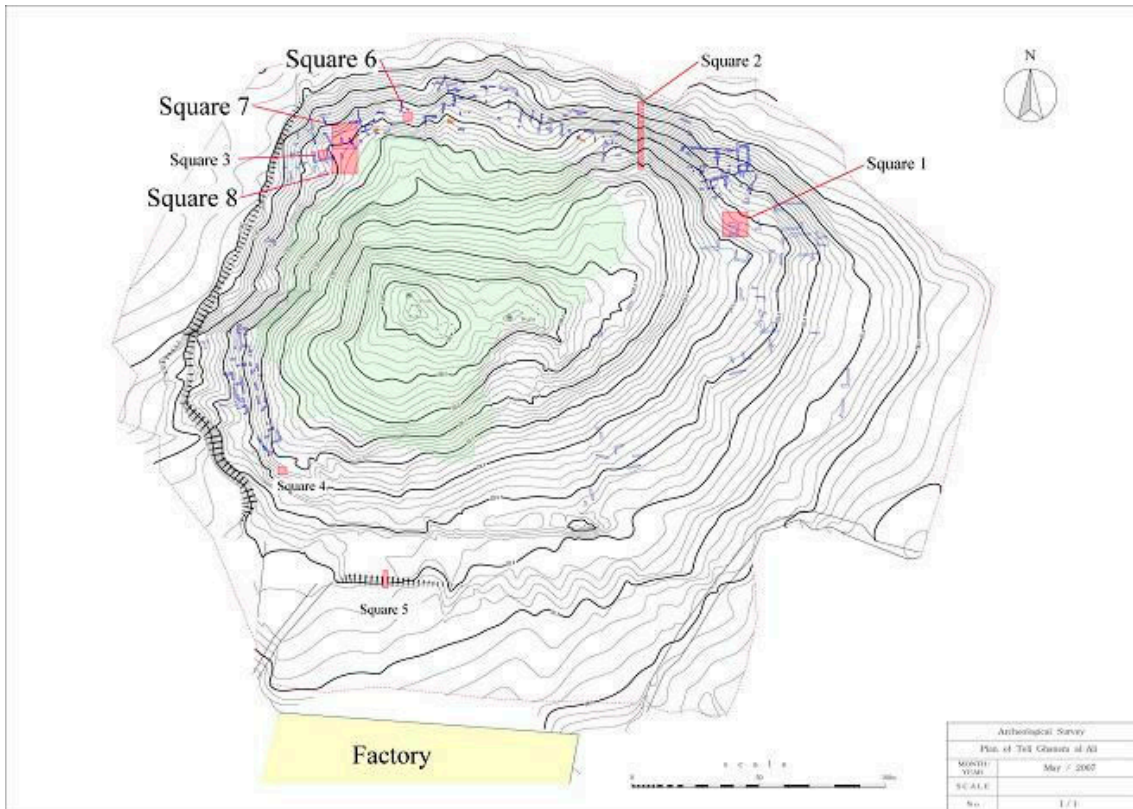
（次ページ以後に地図、写真が載っています）



シリア共和国ラッカ市とその近郊ガーネム・アル・アリ遺跡の位置を示す地図



ガーネム・アル・アリ遺跡の遠景（北から望む）



スクエア (Square) 6、7、8 を示すガーネム・アル・アリ遺跡の全体図



ガーネム・アル・アリ遺跡スクエア 6 の埋葬遺構 (中期青銅器時代)



ガーネム・アル・アリ遺跡スクエア 6 の居住部屋 (前期青銅器時代)



ワディ・ダバ墓地遺構群



ワディ・ダバ墓地遺構群の発掘 (1)



ワディ・ダバ墓地遺構群の発掘 (2)